

一般社団法人日本解剖学会 2018年(平成30年)度第1回常務理事会議事録

日時：平成30年2月3日(土)10:00～13:45

場所：東京医科歯科大学MDタワー(17階会議室)

出席者：岡部繁男(理事長)、木山博資、寺田純雄、仲嶋一範、八木沼洋行(以上常務理事)、松崎利行(常任幹事)、片桐 淳、中村 聡(以上、口腔保健協会)

欠席者：阪上洋行(常任幹事)

I. 理事長挨拶

II. 会議記録の確認

以下の議事録が確認された。

- (1) 2017年(平成29年)度第6回常務理事会(平成29年12月10日開催)議事録(案)
- (2) 2017年(平成29年)度第5回理事会(平成29年12月10日開催)議事録(案)

III. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の通り報告があった。

平成29年12月分

入会者：該当者なし

退会者：正会員21名、学生9名、賛助会員1名、名誉会員1名、賛助会員1名、団体会員3名

逝去会員2名

尼崎朝子氏(東京電子専門学校臨床工学科・学部長/正会員)平成29年11月1日逝去(満63歳)

小片丘彦氏(鹿児島大学・名誉教授/正会員)平成30年1月18日逝去(満85歳)

(2) 学会宛文書類について

資料に基づき、以下の通り報告があった。

①通知・依頼：44件

朝倉書店から依頼があった「ライフサイエンス顕微鏡学ハンドブック」書評掲載のお願いについては、執筆者の候補を検討した。

②書籍、定期通信 他：11件

(3) 年会費納入状況について(長期未納者の除名について)

資料に基づき、2年以上の会費未納者について報告があった。4年未納者は支部長から連絡をしてもらい、第123回総会・全国学術集会の際に掲示するが、未納が続けば除名とすることを確認した。

(4) 賛助会員の退会について

資料に基づき、1件の賛助会員からの退会の申し出について報告があった。

(5) 各種委員会報告について

資料に基づき、各種委員会の活動報告書を確認し、一部修正をおこなった。

(6) 平成30年度定時社員総会の資料作成について

平成30年度定時社員総会の資料について確認した。

(7) 平成30年度定時社員総会の案内と書面表決状について

資料に基づき、平成30年度定時社員総会の案内と書面表決状について確認した。

(8) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、第16期男女共同参画学協会連絡会 第1回運営委員会(新潟大学 依田浩子先生出席)の報告があった。連絡会から大規模アンケート実施費用の不足をまかなうために分担金の引き上げの提案があり、解剖学会としては一律1.5倍で17期の分担金からの改正を希望すると回答することとした。またアンケート実施にあたっては支出を抑える工夫をしてほしい旨意見を伝えることとした。

- (9) その他
特になし。

2. 編集報告

(1) ASI刊行報告

資料に基づき、2018年1月25日にASI (Vol. 93, No. 1) が発送されたことと、今後の刊行予定について報告された。

(2) ASI契約更新について

資料に基づき、シュプリンガー・ジャパンから提案があった契約内容について、シュプリンガーに対して不明点の確認を行ったことと、解剖学会からの要求を受け入れてもらえたことが報告された。

- (3) その他
特になし。

3. 企画・渉外報告

(1) 2018(平成30)年度総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、2018(平成30)年度日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況について報告があった。

(2) 2019(平成31)年度総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、2019(平成31)年度日本解剖学会総会・全国学術集会は2019年3月27日(水)～29日(金)の日程で、影山幾男(日本歯科大学新潟生命歯学部)会頭により、朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)で開催されることが報告された。

(3) 日本医学会・日本医学会連合報告

資料に基づき、以下4点について報告があった。

①日本医学会から遺伝学用語についてのお願ひがあり、解剖学用語委員会に伝えた。

②医学教育モデル・コア・カリキュラム等の次期改訂に向けた調査・研究班から、医学教育モデル・コア・カリキュラム英語版の確認について依頼があり、教育・若手育成委員会で分担して対応中である。

③日本医学会連合から平成29年度日本医学会連合加盟学会連絡協議会での解剖学会からの演者の推薦依頼があり、岡部理事長を推薦した。

④日本医学会連合から第4回研究倫理教育研修会(平成30年5月8日開催)の案内があり、木山編集委員長、大塚ASI編集委員長、原田倫理・利益相反委員長が出席予定である。

(4) 賞・研究費候補者選考委員会報告

資料に基づき、平成29年度日本解剖学会奨励賞の選考結果として5名の受賞者の説明があった。今回は応募者全員に対して委員からのコメントを伝えた。委員全員の出席が望ましいことから、Web会議で開催することの提案があり、検討事項とした。

(5) 技術職員に関するアンケート(サンプリング版)について

資料に基づき、解剖体委員会、教育・若手育成委員会、および認定解剖組織技術者資格審査委員会が合同で実施した「技術職員における現状と課題についてのアンケート(サンプリング版)」の集計結果について報告があった。この結果をもとに、3月の総会・全国学術集会期間中の3委員会合同会議で議論し、さらに本調査を実施する予定である。

(6) 認定一級解剖組織技術者試験の到達目標作成について

資料に基づき、認定解剖組織技術者資格審査委員会で作成した、認定一級解剖組織技術者試験の到達目標について報告があり、一部文言の改訂を依頼することとした。

(7) ホームページアクセス解析報告

資料に基づき、アウトリーチ委員会がおこなったホームページアクセス解析についての報告があった。

- (8) その他
特になし。

4. 会計報告

(1) 平成29年度支部学術集会収支報告について

資料に基づき、第63回東北・北海道連合支部学術集会、第27回関東支部懇話会、第105回関東支部学術集会、第77回中部支部学術集会、第93回近畿支部学術集会、第72回中国・四国支部学術集会、第73回九州支部学術集会の収支決算報告があり、内容の確認をおこなった。

(2) 平成29年度決算書概要(案)について

資料に基づき、平成29年度決算書概要(案)について、予算と比較して多寡のみられた項目を中心に説明があった。

(3) 献体による外科手術手技研修に関するアンケート調査2018について

資料に基づき、「献体による外科手術手技研修に関するアンケート調査2018」について説明があった。現時点での回収率が70%程度である。集計結果は3月の総会・全国学術集会期間中の解剖体委員会、教育・若手育成委員会、および認定解剖組織技術者資格審査委員会の合同会議で議論すると同時に、ワークショップでの発表もおこなう。

(4) 日本外科学会C S T推進委員会報告

資料に基づき、平成30年度予算政府案にサージカルトレーニングに関する事業予算が大幅な増額として認められたことが報告され、解剖学会員へ周知することとした。また、CST推進委員会からの「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」改訂案についても報告があった。

(5) その他

特になし。

IV. 審議事項

1. 教授就任による代議員について

資料に基づき、1名の教授就任による代議員申請について説明があり、審議の結果承認された。

2. 永年会員の推薦について

資料に基づき、本人の意思確認の結果もふまえて9名を永年会員として推薦することが説明され、審議の結果承認された。

3. 休会申請について

資料に基づき、1名の休会申請について説明があり、審議の結果承認された。

4. 解剖学雑誌電子化について

資料に基づき、解剖学雑誌電子化について検討をおこなった。その結果、まずは岩手医大からの寄贈と東亜ブックからの購入によって解剖学雑誌全巻をそろえることとした。PDF化については口腔保健協会からの見積に基づき検討したが高額のため再検討を行うこととした。国会図書館ですでに一部PDF化されていることから、それを譲り受ける可能性についても検討することとした。PDF化後の利用方法について議論する必要があるとのことから、引き続き検討することとした。

5. ASIへのMicroscopy誌差込み広告について

資料に基づき、オックスフォード出版局からASIにMicroscopy誌の差込み広告の依頼があったことが説明され、審議の結果費用を負担頂き認めることとした。

6. アウトリーチ委員会のミッションの再定義について

アウトリーチ委員会の活動として、新たに学会ウェブページのコンテンツ充実化の検討が開始されることとなり、関連必要経費について審議した結果、特別会計からの支出を含めて議論を継続することとした。

7. 生科連より「合同大会開催についてのご意見伺い」

資料に基づき、生物科学学会連合からConBio2017に対する感想と意見を求められたことが説明され、それぞれの学会が一般演題等を含めて全体的に融合した学術集会を開催することは困難であるが、各学会が独自性を保ちつつ、例えばシンポジウム企画を中心とした協賛による学術集会開催を企図す

るのであれば、有意義な機会となるのではないかと、との旨返答することとした。

8. 奨励賞のあり方について

賞・研究費候補者選考委員会から応募要件について、年齢制限ではなく「研究歴〇年以内」とすることにつき検討依頼があり、審議の結果、研究歴の上限を公平に評価するのは困難であること、また現在の年齢制限は奨励賞として妥当なものであるとの意見から、現状のままを提案することとした。

9. 平成30年度予算(案)について

資料に基づき、平成30年度予算(案)について前回の理事会時より変更になった部分(全国学術集会収入・支出、支部学術集会収入・支出、前期繰越収支差額)について説明があり、審議の結果承認された。

10. 理学療法士学会からの依頼に関するWGについて

理学療法士学会からの依頼に対してWGから提出された資料に基づき議論を行った。WGではさらに問題点の明確化と方向性について検討し、次回理事会においてその結果を報告することとした。

11. 支部学術集会における発表資格ルール整備について

資料に基づき、支部学術集会における発表資格ルール整備について検討した。「学生」の扱いについては、全国学術集会で学生セッションを設けた大会では「学生」は医学部・歯学部学生のみとし、大学院生は含めないこととしている。また学生セッションにおいては非会員の学生でも発表を認めている。このことを大会運営マニュアルに記載しておくことを確認した。支部会での扱いについてはそれぞれの支部でのこれまでの経緯等も踏まえて個別に判断していただく事とした。

12. 8th APICAの宣伝について

資料に基づき、8th APICAの代表から第123回総会・全国学術集会の場で学会員への周知をおこないたいとの連絡があり、定時社員総会と懇親会で紹介の時間を設ける予定であることが説明された。また海外交流委員会委員長から、APICAに参加する日本の若手研究者に対する旅費支援の提案があったことが紹介され、議論した。APICAの中で若手研究者が交流できるセッションを企画し、支援対象の若手にはこの企画に参加して海外の若手研究者とのより密接な研究交流を行うべきとの意見が出され、海外交流委員会委員長へ伝えることとした。

13. 次回・常務理事会・理事会・支部長会・各種委員会の日程・議事について

資料に基づき、次回・常務理事会・理事会・支部長会・各種委員会の日程・議事について確認された。

常務理事会 3月27日(火) 13:30~15:00

支部長会 3月27日(火) 15:00~15:30

理事会 3月27日(火) 15:30~17:30

各種委員会 3月28日(水)~30日(金)にかけて開催

14. その他

・資料に基づき、教育・若手育成委員会企画WS関連アンケートについて紹介された。

・資料に基づき、岡崎統合バイオサイエンスセンターからの、当該センター活動推進に対する支持の依頼について説明があり、支持を表明することで承認された。